

# 5FU + CDDP 療法 《初日に 5 日分調製》

3 週毎 コース予定

疾患名 食道癌

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

主治医 指導医 HBs 抗原( ) HBs 抗体( ) HBc 抗体( ) HCV 抗体( )

### スケジュール

		day1	2	3	4	5
シスプラチン	70 mg/m <sup>2</sup>	↓				
フルオロウラシル	持続 3500 mg/m <sup>2</sup> /5 日 【700 mg/m <sup>2</sup> /日】	↓	.....	.....	.....	.....

- 【注意】 \* 一日の尿量が 3000 mL 以上になるように化学療法前日より輸液を行う。  
 \* シスプラチンは遮光のこと  
 \* シスプラチンはポンプを使用しないこと。

☆通常量より減量する際の理由☆

### (レジメン)

#### day 1

抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル (125 mg) 1C を内服

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② 生食 500 mL + L-アスパラギン酸 K 10 mEq + 硫酸 Mg 補正液 4 mEq  
 点滴静注 120 分 (250 mL/時間) } 同時滴下
- day 1 - day 6 フルオロウラシル + 生食 1060 mL  
 側管より輸液ポンプにて点滴静注 約 120 時間(10 mL/時間)
- ③ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注
- ④ シスプラチン + 生食 300 mL 点滴静注 120 分 (240 mL/時間)  
 \*生食 200 mL をバッグから前もって抜いておく
- ⑤ 20%マンニトール 200 mL 点滴静注 30 分 (400 mL/時間)

5FU + CDDP 療法<<初日に5日分調製>>

⑥ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸 K 10 mEq + 硫酸 Mg 補正液 4 mEq

点滴静注 120分 (250 mL/時間)

⑦ 生食 500 mL

点滴静注 120分 (250 mL/時間)

⑧ ソルアセト F 500 mL

点滴静注 80 mL/時間

⑨ ソルアセト F 500 mL

点滴静注 80 mL/時間

⑩ ソルアセト F 500 mL

点滴静注 80 mL/時間

Day 2-5

① デキサメタゾン 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL

側管静注

② ソルアセト F 500 mL

点滴静注 80 mL/時間

③ ソルアセト F 500 mL

点滴静注 80 mL/時間

④ ソルアセト F 500 mL

点滴静注 80 mL/時間

⑤ ソルアセト F 500 mL

点滴静注 80 mL/時間

day 2, 3

アプレピタントカプセル (80 mg) 1C 1×朝 内服

	コース				
	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
投与日	/	/	/	/	/
5FU 開始時刻	→	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓				
確認					

	コース				
	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
投与日	/	/	/	/	/
5FU 開始時刻	→	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓				
確認					

5FU + CDDP 療法《初日に 5 日分調製》